

1 旧新潟鐵工所 大山車両工場



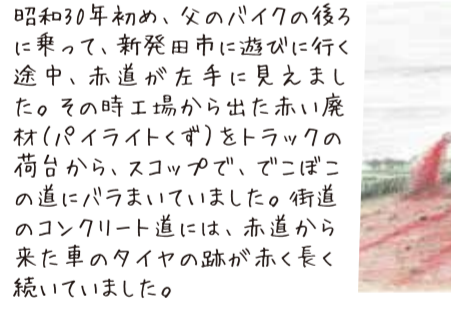
大山車両工場ではディーゼルカーというエンジン式軌道客車をはじめ海外向け車輛等や他にはアスファルトフィニッシャー、除雪軌道車や、道路上・歩道上の除雪車両、「ゆりかもめ」などの特殊車両を作っていました。この工場での最後には「坊っちゃん列車」なども送り出しています。

2 焼島地蔵尊



いまは、工場地帯のど真ん中ですが、この辺りは大正時代まで「焼島湯」とよばれる湯と松林が広がる風光明媚な景勝地だったそうです。しかし、荒れた天候になると、湯に溜まり出した湯が強風で難破することも多く、その霊を弔うために祀られたものだそうです。

3 赤道の思い出



昭和30年初め、父のバイクの後ろに乗って、新発田市に遊びに行く途中、赤道が左手に見えました。その時工場から出た赤い廃材（パイライトくず）をトラックの荷台から、スコップで、でこぼこの道にバラまいていました。街道のコンクリート道には、赤道から来た車のタイヤの跡が赤く長く続いていました。

4 国道商店街の思い出



山形商店（昭和30年代）

うちの店には木製のカウンターと椅子があり、仕事帰りのおじさん達が、はかり売りのお酒と菜入りのツマミで一服していました。配達はオート三輪とバイク。冬にはたくさん雪が降り、店の前にかまぐらを作ってあそんでいました。



5 新潟空港



新潟空港は1930年(昭和5年)に開港されました。飛行機に乗らなくてもショップで新潟名物やレストランで飛行機を見ながらの食事が楽しめます。そして送迎デッキは撮影お楽しみスポット。夕暮れ時の夕日と海と飛行機の撮影が人気です。

6 貯木場



通船川でつながっている第一・第二貯木場は、いまは使われていません。かつての名残で水面に出ているわずかな杭(くい)の頭に草が生い茂り、奇妙な生け花のようになっています。通船川で木材筏(いかだ)の曳航が見られなくなったのはとても残念です。

7 新潟バイパス



6車線化工事(昭和52年・海老ヶ淵方面から竹尾方面を望む)

信濃川・阿賀野川を中心にした舟運で発展してきた新潟市ですが、陸運として「新潟バイパス」が果たしてきた役割は大きく、全線立体交差の6車線道路で、全国でも1,2位を争う交通量は、東区が産業の町として発展していくことに大きな影響を与えました。

8 貨物ターミナル



いまは立体交差になっていますが、停車場近くの踏切には大変だった思い出があります。長い時間踏切が開くのを待ちながら、どうしてあんなに凹凸なのかと当時は不思議に思っていました。